

料金後納

ゆうメール

MACNEWS

〒616-8156

京都市右京区太秦西野町20

TEL 075-871-0374. FAX 075-882-3777

Eメール mac.terakoya@gmail.com

URL <http://www.mac-terakoya.com>

(お子さんが大人になったとき、社会で活躍できるヒントがいっぱい)

お母さんに質問です。

お母さん、あなたはご自分のお子さんをどんな子に育てたいですか？

子。 (に、一つだけ形容詞を入れてください。)

「人は皆、社会に出て独りで生き抜いていかなければならぬ」と言うことを考えれば、自ずと答えは決まってくるのでは・・・解答は4ページに記載

楽すれば、楽が邪魔して楽なら ず、楽せぬ楽が、はるか楽々



以前にも仕事の取り組み姿勢で述べた、脈々と引き継がれている富山の老舗の薬売りの「七楽の教え」

これ、子育てにも通ずる言葉なのです。

子育ては手がかかるもの。

幼児の頃、テレビの前に座らせておけば、手がかからないからとテレビに子守をさせた結果、話しかけられても、無表情、無反応な子に。

ところが、先日の新聞に

「スマホ、PC利用率 4～6歳 4割超す」という記事を見かけました。

情報通信端末の利用率は、4歳が41.4%、5歳は41.5%、6歳は43.9%。

2～3歳は3割台、0歳でも10.5%が端末に接していた。

使った効果では、

0～3歳児の保護者の56.4%が

「保護者の手を煩わせない時間が出来た」

と解答しているのです。

前号で、スマホに依存することの怖さをお知らせしましたが、
子ども達の将来はどうなるのでしょうか？

スマホ依存症・チェックリスト お試しください・・・（「インターネット・ゲーム依存症」巻末 記載より引用）

※過去1年くらいのスマホの使用状況について、最もあてはまるものに○をつけてください

- 1、スマホに気をとられていて、予定していたことに支障が出たことがある。
①全くない ②あまりない ③時々ある ④頻繁にある
- 2、スマホをついやってしまい、勉強や仕事に集中するのが困難な時がある。
①全くない ②あまりない ③時々ある ④頻繁にある
- 3、スマホの使用中に、手首や首の後ろに痛みを感じることもある。
①全くない ②あまりない ③時々ある ④頻繁にある
- 4、スマホなしには耐えられないだろう。
①全然そんなことはない ②あまりそんなことはない ③幾分そうかもしれない
④全くその通りだ
- 5、スマホが使えなくて、イライラしたり不機嫌になったりしたことがある。
①全くない ②あまりない ③時々ある ④頻繁にある
- 6、スマホを使っていない時でも、スマホに関係することを考えることがある。
①全くない ②あまりない ③時々ある ④頻繁にある
- 7、スマホによって生活に大きな支障が出ていたとしても、スマホの使用を止めることは考えられない。
①全然そんなことはない ②あまりそんなことはない ③幾分そうかもしれない
④全くその通りだ
- 8、他の人の書き込みややり取りを見逃さないように、スマホで、ツイッターやフェイスブックなどを、絶えずチェックすることがある。
①全くない ②あまりない ③時々ある ④頻繁にある
- 9、最初の予定より、スマホをやりすぎてしまうことがある。
①全くない ②あまりない ③時々ある ④頻繁にある
- 10、周囲の人からスマホをやりすぎだと言われることがある。
①全くない ②あまりない ③時々ある ④頻繁にある

判定の方法

該当する答えの数字（①であれば1点）を足し、出た合計得点が、スマホ依存スコア。

判定の目安

25～29点＝幾分依存の傾向あり 30～33点＝依存の傾向がやや強い危険群

34点以上＝依存の傾向が強い依存群

採点の結果は如何でしたか？

まずは、周りの大人が、スマホの使い方の範を示さなければならないのでは(^_^;)

ところで、

この頃の子の多くは、辛抱するという耐性が育まれていません。

昔は、食事での好き嫌いは許されませんでした。しかしながら、今では、食卓で好き嫌いでもめるのがストレスだから、好きなものだけを食べさせている家庭が多いのです。

その結果、 食卓の延長（嫌いなものは食べなくていい）

➡ したくないことは無理してやらなくていい
となり、辛抱する機会を喪失しているのです。

たかが、食べ物と思われるかもしれませんが、秋葉原や土浦市での殺傷事件の犯人は、コンビニ弁当の常食者ですし、浅間山荘事件での犯人はインスタント食品と缶詰を常食としていたのです。

また、デパートでの離乳食・・・イタリア風味、フランス風味のポタージュが10歳以下のアトピーや脂肪肝の増加の原因になっているそうです。

いかに、バランス良い食事をとることが大切か！

結論、言えることは、

昔、好き嫌いをするなどと言って躱けたのは、栄養だけの問題ではなく、生き方、ピンチに出会った時の乗り越え方も教えていたということです。

辛抱・・・辛いけど一年我慢して、この字に一を入れると幸せになるよ！！

辛 → 幸

1 ページの質問の答えは

「たくましい」「強い」が、くるべきなのですが

如何でしたか？

心理学の本には、次のように書かれています。

親としてのアイデンティティを持つ親なら持つ子育ては、

- ◎ わが子をどこに出しても恥ずかしくないように育てる
- ◎ 利己的な気持ちを抑えて人とうまくやっていけるように育てる
- ◎ 逆境を乗り越えていけるような強さを植え付ける
- ◎ 厳しい現実にもめげずに力強く生き抜いていけるように鍛える
- ◎ 怠惰な気持ちに負けずに頑張れる子に育てる
- ◎ しっかりとして価値観を持ち、正しい倫理観を持つ人物に育てるべく模範を示す

ところが現状を見ていると、自己愛が勝りそれが出来ていない親が多い。

例えば、子どもを叱った先生にクレームをつける親は、意識の上では、自分は優しい親のつもりでいることが多いようだが、実は自分かわいさのあまり、子どものためを考えることが出来なくなっている自己チューな親である。

————→ 子どもも自分の親は、子どもに甘いと考えている

親の自己愛が勝ると、

大事なものは、自分が寂しい思いをしないこと、つまり、子どもから嫌われないこと。親自身は意識していないだろうが、自分が寂しくならないうえに子供が犠牲になっても構わないというような行動をとる。

甘やかされた子どもは、

社会性を叩き込まれず、心の強さを植え付けられないため、社会に出てつまづくことになる。辛い思いをするのは子どもだ（わが子の将来を考えることが出来ていない）。

「わが子のため」ではなく「親自身のため」という行動原理。

わが子から嫌われないように、厳しいことは言わず、注意をするより何かとほめる。それによって社会性が身に付かなくても、心が鍛えられなくても構わない。

厳しく躰けようとして反発されるより、甘やかしてご機嫌をとって好かれようとする。子どもに反発されて寂しい思いをするのは嫌だ。

➡ 自分に甘く向上心の乏しい子どもからは、良い親だと思われがちだが、物分かりの良い親を演じながらも、実は、自分のことしか考えていない。

親アイデンティティを持っていれば、子どもから好かれたいなどと思うより、子どものためにきちんと躰けなければならない。

ところが、親アイデンティティが崩壊し、自己愛の延長として、ただわが子をかわいがる親は、子どもから好かれたいと思いつつ評価不安に脅かされ、何か注意しなくてはならない時も、『**あなたのためだから**』と、つい言い訳をする。

このように書かれていました。

このような傾向は、多くの学習塾においても散見されます。

- ・市場原理に縛られ、自分の市場価値を損なわないために、嫌われるようなことはしない。
- ・自塾の価値観に基づく主義や信念などを持たずに、周囲に合わせる
- ・評判を落とさないように、嫌われないように、周囲の人たち（生徒と保護者）のご機嫌をとる。

これは、「**今の子の現状を何とかしたい**」（学習目標）・・・MACの視点・・・より、「**生徒を集めたい**」（業績目標）に視点を置いているからにほかなりません。

また、なぜMACでは、礼儀に厳しいのでしょうか？

以下、一部上場企業の役員を勤められた人の著書より、

仕事をしていくうえで最も重要なことのひとつが、「礼儀正しくあれ』ということです。

私は、自分の部下にいつも「礼儀正しさ一つでこの会社の役員になれる」と言ってきました。

役員とはリーダーです。リーダーというのは、幼稚園の時に教えてもらったことをきちんとできる人だと私は考えています。(今どきの幼稚園では???)

幼稚園の時、どんなことを教えてもらったかというと、

「人に会ったら挨拶しなさい」

「みんなと仲良く遊びなさい」

「仲間外れを作ってははいけません」

「ウソをついてはいけません」

「間違ったことをしたら勇気を持ってごめんなさいといいなさい」

といったことです。

人として求められる大切な資質とは「正直さ、誠実さ」です。つまり「真摯さ」です。

信用できない人間とはだれも仕事をしたいとは思いません。

ドラッカーの『現代の経営』にあるリーダーシップには、「真摯さよりも、頭脳を重視するものを昇進させてはならない。そのようなものは未熟である。仕事に高い基準を設けないものも昇進させてはならない。仕事や能力に対する侮りの風潮を招く~~~~~**真摯さは習得できない。仕事に就いた時に持っていなければ、後で身に付けることは出来ない。**

礼儀正しさについて若干補足すると、人に会った時はいつも明るく大きな声で挨拶します。挨拶は日常生活ではとても大切なことです。仕事のことで助けてもらったなら必ずお礼を言います。

人に会う時は、きちんとした服装をすべきです。清潔な服装に努めます。

服装以上に大事なことは、**時間を守ること。約束を守ること。**時間厳守は、ビジネスマンの鉄則です。

また、仕事に期限があつたら、それを守ります。守れそうになかったら、必ず事前にその理由と納期を伝えなくてはなりません。

このように書かれていました。

子ども達の将来を考えると、礼儀や真摯さは幼少時に習得させなければなりません。

このようなことが分かっているので、MACでは低学年にも厳しく指導しているのです。

生徒達には、学校でも叱られない、家でも叱られない状況だから、みんなに嫌われても良いと思っているので、遠慮なく耳の痛いこと言うから聞くようにと宣言しています(^_^;)